

一緒に活動しませんか。



平泉 英子 さん(鮎貝地区)

ボランティア 白鷹の未来を彩る

えいこ
なないろの会 平泉 英子さん

… 人とのつながりができました …

「なないろの会」で活動する平泉英子さんに、お話を伺いました。

活動内容は

なないろの会では、100歳体操や茶話会、子ども食堂などを定期的に開催しています。広い意味では介護保険外で福祉サービスを受けられる仕組みです。

なないろの会とは

平成29年度から始まった「支え合う地域づくり」活動をしている団体です。現在は鮎貝新町「つどいの場にじ」を拠点に

スタッフ10人で活動しており、徐々に内容を充実させたいと努力しています。現在は「ほっとしらか」という、少し別枠の活動も始めています。

ほっとしらかとは

有償ボランティア活動です。利用者さん宅へお邪魔して、ごみ出し、買い物補助、調理補助、通院移動支援など家事支援を主に行うほか、傾聴活動もあります。

良かったことは

4年ほど活動して地域の皆さん、スタッフの皆さんとの出会いができたことです。多種多様に教えてもらうことがあり、私の学びの場でもあります。私たちの活動は、自分も同じ立場になることを考えれば「お互いさま」だと思いますし、ご家族としても助かると思います。自分も含

めて「ほっとしらか」の存在は心強いことです。

仲間募集

一緒に「ほっとしらか」の活動をしてくださる仲間が増えればうれしいです。ご自身と利用者さんの希望が合えば相談の上で活動いただきますので、そのような意味ではご負担が少ない形で活動できます。気軽にご連絡ください、お待ちしております。

読者にひとこと

白鷹町民どなたでも活用いただけます。町報しらかに活動日や活動内容が掲載されますので、気軽に足をお運びください。また「ほっとしらか」のスタッフ不足がちなので、一緒に活動いただけ方を募集しています。

町へひとこと

会場へ来ていただくにあたり、車の運転が難しい方もいます。移動支援への取り組みがあればと思っています。



取材を終えて

少子高齢時代を迎え、ちよつとしたお手伝いを頼める仕組みは、今後さらに大切になると感じるものができました。誰もが主役の「支え合う地域づくり」活動がこれからも広がることを期待したいと思います。(横山)

編集後記

議会広報のカメラ係として、昨年は多くのイベントにお邪魔させていただきました。今年にはコロナ禍によりいくつかの活動が見合わせとなり、とても残念に感じていました。

さまざまな影響を及ぼしているコロナ禍ですが、ウェブ会議など情報通信技術を用いたサービスが広がる契機にもなっているようです。町としても小中学校の生徒に急ぎパソコンなどを一人一台整備するような準備を進めています。道具を上手に使うためには経験が必要であり、そこには人の知恵が求められるようです。こういった点は、今も昔も変わらないのかもしれない。(横山)

広報委員

委員長 菅原 俊一
副委員長・編集長 横山 和浩
委員 丸川 雅春
委員 竹田 雅彦
委員 金田 悟
印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。